

株式会社 エヌ・ティ・ティ エムイー

本社所在地 〒163-8019 東京都新宿区西新宿3-19-2
設立 1999年4月1日
代表者 代表取締役社長 星野 理彰
資本金 1億円
従業員 約12,800名(2024年5月現在)
事業エリア 東日本全域17都道県



技術で叶える。

東日本から、キミの近くまで。



NTT ME RECRUITING

新卒採用情報サイト



募集職種、応募資格、採用給等につきましては
採用HPの募集要項をご確認ください。

技術で叶える。東日本から、キミの近くまで。 で検索
<https://www.ntt-me.co.jp/recruit/new-grad/>

採用に関するお問い合わせ

NTT-ME 採用チーム

Tel: 03-5359-4920

E-mail: saiyou-eng-gm@east.ntt.co.jp

掲載している情報は本誌作成時のものです。(2023年10月現在)

ちかづこう、ひろげよう。

Group Formation

NTT東日本グループフォーメーション

多様化するお客さまのニーズに柔軟かつスピーディーにお応えするため、エリアや機能に基づきミッションを分担するとともに、各社が相互に連携することによって、グループトータルでお客さまに最適なサービスを提供しています。



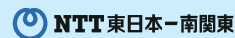
東日本全域（17都道府県）

最先端の ICT 技術を活かした新たなサービスの開発・販売、通信回線や基幹ネットワークの構築・運用、グループの事業戦略立案・推進を通して、ビジネス・ライフスタイルの革新、安心・安全な社会を実現します。

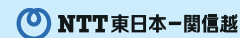


東日本全域（17都道府県）

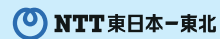
ICT 技術のプロフェッショナル集団として、基幹ネットワークの構築・運用を通して東日本エリアの通信を支えています。地域にちかづき、一人ひとりの可能性をひろげるために、新たな領域に挑戦し続ける総合エンジニアリングカンパニーです。



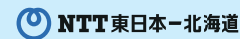
東京、神奈川、千葉、茨城、山梨



埼玉、栃木、群馬、長野、新潟



宮城、福島、岩手、青森、山形、秋田



北海道

〈コンサルティング営業・SE〉

ICT サービスを活用したコンサルティング営業・SEを通じて、地域のお客さまと NTT 東日本グループをつなげる“お客さまとの接点”という役割を担っています。地域に密着して安心・安全を支え、地域の未来、そしてお客さまの事業や生活の発展に貢献しています。

Data of NTT-ME

数字でみるNTT-ME

一人ひとりを大切にするNTT-MEだからこそ、みえてくる様々な数字をご紹介します。

数字から、NTT-MEにちかづこう。

社員数（男女別）

（2024年5月現在）

11,096 名

男性

男性：86.59%

1,719 名

女性

女性：13.41%



平均年齢

44.1 才

（2024年5月現在）



有給休暇取得率

94.3 %

（2022年度）※1



育児休業復帰率

100 %

（2022年度）

男性社員の育児事由休暇取得率

79 %

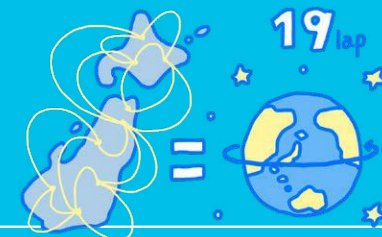
（2022年度）※1



光ファイバー総敷設の長さ

（2022年3月31日現在 ※2）

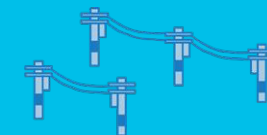
78 万 km



電柱数

566 万本

（2022年3月31日現在）※2



住宅補助費

38,600 円 / 月

（2024年度独身者、首都圏の場合）



認定資格数

（2024年4月現在）

1,420 資格



離職率

2.7 %

（2022年度）※1



女性マネージャ比率

11.2 %

（2022年度）※1



入社5年目女性社員比率

13.0 %

（2020～2024年度入社社員）



※1 NTT-MEが所属するNTT東日本グループ6社の数値 ※2 NTT東日本設備

Career Fields

仕事を知る

東日本グループが提供する通信サービスの
計画・構築から運用・保守の業務を基盤に、
私たちは地域の一人ひとりにちかづき
新たな価値を共創します。

P.7

アクセス業務

お客さま一人ひとりの通信ネットワークを
まもり、つくり、あたりまえに
つながる「いつも」を実現する

P.8

ネットワーク業務

NTT東日本の基幹ネットワークを
まもり、つくり、あたりまえに
つながる「いつも」を実現する

P.9

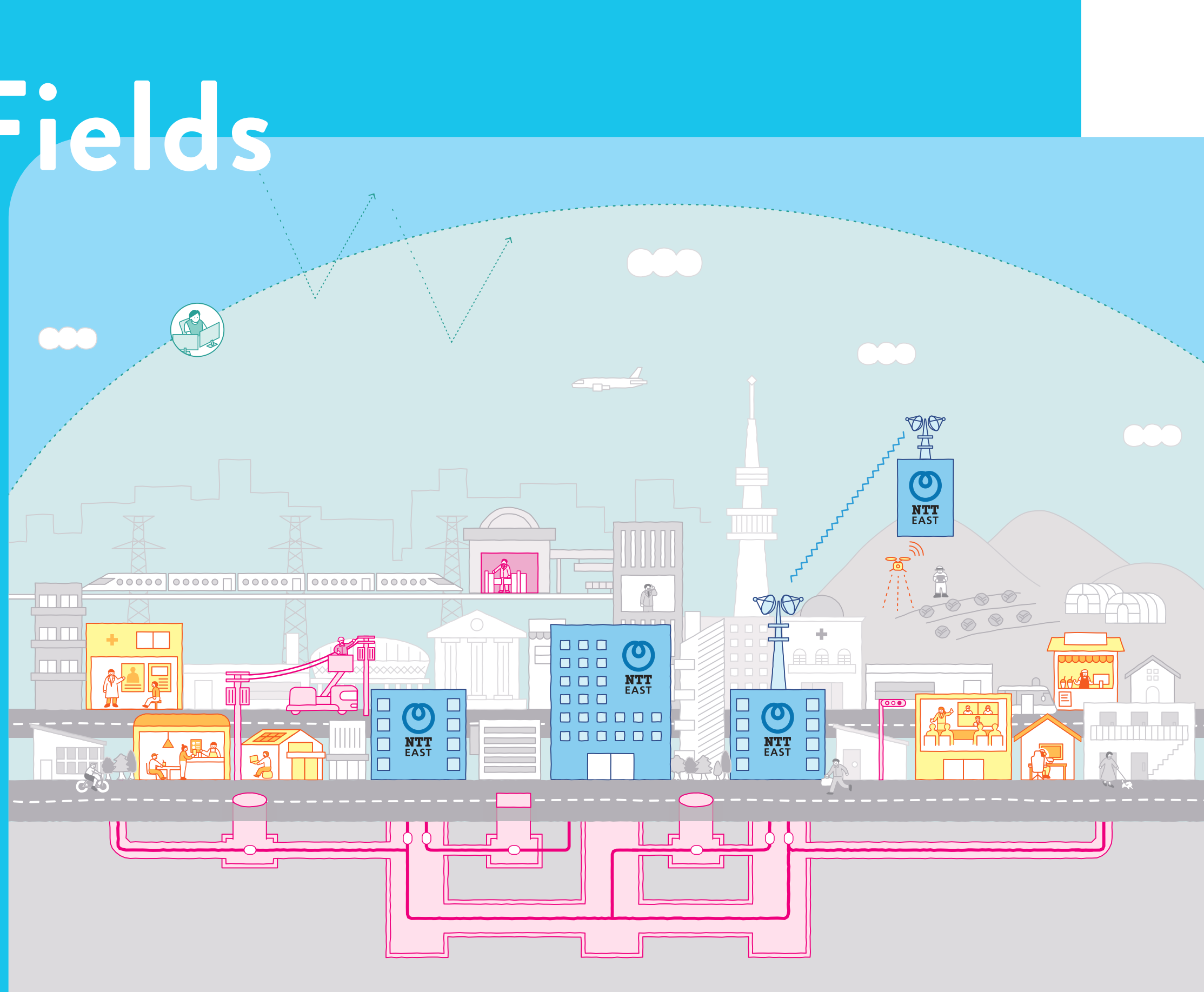
サイバーセキュリティ業務

高度な技術と知識によって
あらゆるサイバー攻撃から
システムやサービスをまもる

P.10

ソフトウェア業務

ソフトウェアで課題を解決、
さらにその先にある
新たな価値を共創する

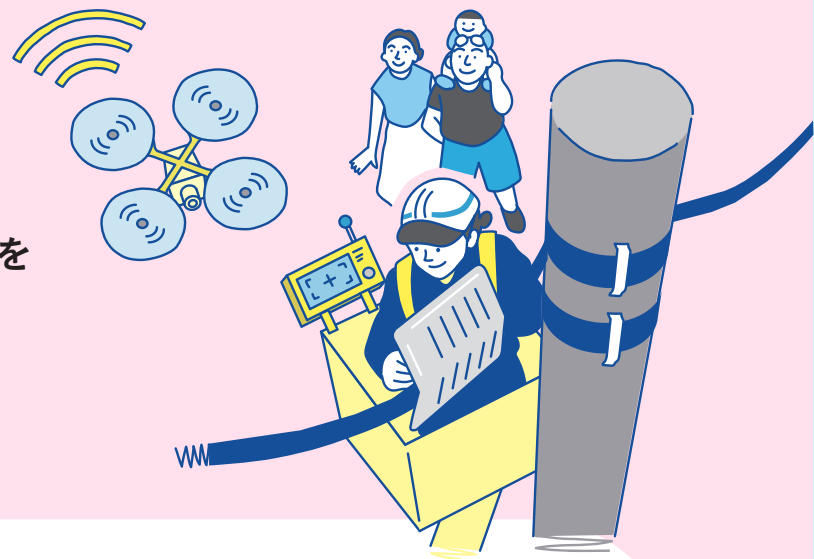


Access

Infra Engineer

インフラエンジニア アクセス業務

お客さま一人ひとりの通信ネットワークを
まもり、つくり、あたりまえに
つながる「いつも」を実現する



運用・保守

カスタマーサービス

電話やインターネットに不具合が生じたお客さま宅や企業を訪問し、通信装置や配線などの故障修理を行います。バケット車を使って作業することもあります。



アクセスメンテナンス

障害を未然に防ぐために、通信設備を日常的に点検し修理・交換します。近年はドローンやAIを活用したスマートメンテナンスにも注力しています。



9:40
バケット車をつかって電柱の上で作業。チームで声をかけ合いながら行います。



11:30
次の現場へ移動。歩行者や車に十分に配慮しながら作業を行います。



13:45
電話装置のメンテナンス。データ設定などの専門的なスキルが必要です。



15:40
後輩指導も重要な仕事です。仕事に取り組む心構えも丁寧に伝えています。

計画・構築

計画・設計

地域開発の予定や最新の技術動向など、状況を踏まえて数年後の設備需要を予測。設備規模や実施時期、実施方法を検討し、基本設計を行います。



工事・構築

NTTビル外の通信設備の工事を管理。必要なケーブル長の算出、物品の調達、設計図面の作成を行います。予定通りに開通工事が進むよう進捗を管理します。



9:40
メールチェックや予定の確認、メディア情報入手、各種資料作成などを行います。



10:30
事業推進グループ、安全品質グループと打ち合わせ。業務進捗を共有します。



13:00
高所作業をする会社と打ち合わせ。ともに解決できることがないかを模索します。



16:00
他事業所の企画戦略グループメンバーとリモートミーティングを行います。

Network

Infra Engineer

インフラエンジニア ネットワーク業務

NTT東日本の基幹ネットワークを
まもり、つくり、あたりまえに
つながる「いつも」を実現する



運用・保守

オンサイト

各種通信サービスを安定的に提供するため、通信設備のメンテナンスや故障修理を行います。新たな装置を導入したときには、装置の設定や確認試験を行います。



ネットワークオペレーション

電話交換機や、ルータなどのIP設備を、24時間365日監視。サービス中断を未然に防ぐとともに、故障発生時にはサービスセンタと連携し、復旧作業を行います。



9:00
仕事内容の共有や、安全事項の周知徹底後、最初の現場に向かいます。



11:00
ネットワークオペレーション部門と連携しながら確実に作業を実施します。



13:30
次の現場へ移動します。老朽化した設備の入れ替えを計画します。



17:00
装置の先に多くのお客さまがつながっていることを意識しながら慎重に作業します。

計画・構築

計画・設計

通信量の需要を予測し、いつどのようにどれくらいの設備を構築するかを検討。技術動向を踏まえ、新規装置の設置、装置の入れ替えなどを計画、設計します。



工事・構築

NTTビル内の通信設備の工事を管理。新サービス展開に必要な設備の検討、物品の調達、図面の作成、現地確認、進捗管理などを通して、設備構築を進めます。



10:00
NTT東日本の設備・営業担当と打ち合わせ。進捗の報告を行います。



11:30
打ち合わせの議事録を作成。急ぎの事項があるときは、早急に対応します。



13:00
担当ミーティングでは、今後のアクションについて議論します。



16:00
お客さまからの電話対応、各事業所からの相談事項への対応を行います。

Cyber Security

サイバーセキュリティ業務

高度な技術と知識によって
あらゆるサイバー攻撃から
システムやサービスをまもる



構築・運用・保守



監視

社内外のウェブサイトや各種サービスを 24 時間 365 日体制で監視します。インシデントを分析・評価して切り分け、関係各所と連携して対応に当たります。



脆弱性対応

脆弱性情報を収集し、社内外のシステムを検査して、影響を受ける可能性、攻撃の危険性などを報告書にまとめます。発見した脆弱性情報の収集・分析も行います。



統制

重大なインシデントが発生した場合、原因の調査から、対応策の検討、サービスの復旧、再発防止策の実施まで、迅速かつ適切に行えるよう全体を統制します。

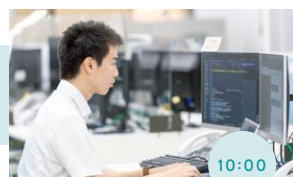


構築・導入

情報セキュリティの高度化を目的に、様々なセキュリティ技術、セキュリティ製品を分析します。最適な技術や製品を導入し、より安心安全なシステムを構築します。



メールと予定を確認後、朝ミーティングに参加して各自の状況を共有します。



WEBアプリケーション診断では、様々な方法で脆弱性の発見に努めます。



チームメンバーの証跡を共有し、お互いに見逃しや不足がないかを確認します。



最新の攻撃手法など、セキュリティに関する情報の収集や、資格の勉強を行います。

Software

ソフトウェア業務

ソフトウェアで課題を解決、
さらにその先にある
新たな価値を共創する

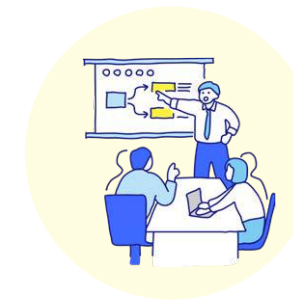


計画・開発・運用



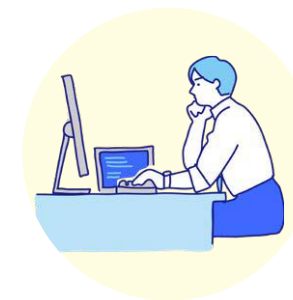
要件定義

ヒアリングを通して、お客さまのご要望の整理、課題の設定を行います。その内容を受けて、導入するツールや実装する機能、開発期間などを定めています。



基本設計・詳細設計

画面の表示や操作方法といったユーザ側の仕様（基本設計）と、ソフトウェアの仕組みなどの開発側の仕様（詳細設計）を設計します。



開発・実装・テスト

ソフトウェアの開発・実装を行います。その後、機能単体・ソフトウェア全体での動作検証や、要件定義を満たしているかなどの確認を行います。



提供・サポート

ソフトウェアをお客さまの現場に導入します。導入後、円滑に運用できるようサポートや改善を行い、お客さまの新たな価値創造や新しい働き方を実現していきます。



朝は在宅勤務にて業務をはじめ、午後の打ち合わせに向けて、お昼前に出社します。



アプリケーション開発の進捗状況と課題をドキュメント化します。



打ち合わせでは開発状況をドキュメントとデモ環境を用いて説明します。



実機を用いてアプリケーションを検証し、より使いやすいUI/UXの在り方を探ります。

Project Story

本音で困りごとを相談してほしい。

地域にちかづき、地域のために、できること。

About Project

お客さまと自然に雑談できる
場をつくりたい。

NTT 東日本グループの DX ツールの活用事例を地方自治体の庁舎などへ出向いて紹介する「DX 体験会」。2022 年に宮城からスタートしたこの体験会は、東北全域に広がりながら 1 年間で約 30 回開催しました。

DX 体験会の場



DX のノウハウ

NTT 東日本グループ内の業務改善で培った DX のノウハウ。



地方自治体の困りごと

自治体の業務の効率化や自動化検討にあたっての課題や悩みごと。

地方自治体の現場変革



DX によって業務効率化を推進し、地域サービスの質の向上や新たな取り組みへ。

体験会を企画した経緯は？

鈴木 NTT 東日本といえば通信の会社というイメージがあると思いますが、培ってきた技術やノウハウを生かして、通信以外の分野でもお客さまに多種多様なサポートを提供できます。加藤と私は、非通信分野で地域の課題を解決し、NTT 東日本グループのビジネス

拡大を目指す「エリアプロデュース活動」に取り組んできました。私たちの取り組みにおいて重要なのが、いかにお客さまの困りごとに気づくことができるか、です。

加藤 とはいえ、いきなり「何かお困りではないですか？」と聞いても、心は開いてもらえません。ビジネス上の付き合いですから、身構えてしまうの



GPS 機能付き点検アプリ（わくレポ）をご提案。教育施設や福祉施設の劣化具合や、登下校ルート上の危険場所、選挙状況の確認など、点検以外にも様々な用途で活用できそうとの声。デモを行ったその場で見積もりの依頼を受けました。

は当然です。そこで、自然に雑談ができるシチュエーションをつくれなかったか考えたのが、DX 体験会を企画したきっかけです。例えば遠隔カメラや VR、ドローン、手書き書類を自動で読み取る AI-OCR などの DX ツールのデモを行います。ですが、それらの商材を売り込みたいわけではなく、デモの機会をフックとしてお客さまに気楽に雑談していただき、本音での会話の中から困りごとを発見するのが目的なんです。

お客さまとの雑談の中で、
見えてきたこと。

畑井 角と私は通信設備の運用と保守の部門に所属し、設備の故障修理などに取り組んでいます。修理にあたる現場の作業員はお客さまとの接点はあるものの、困りごとを聞き出そうにも、“電話やインターネットの人”という認識をさせてしまっているの、話も通信分野以外にはなかなか広がりません。その点、「DX 体験会」は、巷で話題の DX を身近に感じていただきながら、お客さまとのより親密な関係を築ける絶好の企画だと思い、プロジェクトへの参加を希望しました。

角 私は当初、ブースの説明員として「DX 体験会」に参加しました。お客さまからは「DX ってそもそも何？」「どうして話題なの？」といった根本的な質問が多く、みなさん DX に関心はあるけれど、自分の仕事にどう関係するものかわからない様子でした。各商材は用途を簡単に紹介するだけで、あとは雑談です。商材情報の共有なら「こ

んなにいい商品ですから、どこかで活用しませんか？」というスタンスで接し、お客さまも警戒しがちになるでしょう。ところが雑談の場合は距離がぐっと近くなります。そして、一緒にできることはないかという空気が生まれます。とても有意義な活動だと思い、私も運営側に加わりました。

畑井 雑談しているうちに、「ドローンがあれば、あの施設も点検できそう」など、お客さまからこちらとも思いもよらない活用法が挙がってくることもあるから面白いですね。お客さまの方でも「ということは、これは私たちが抱えていた課題だったんだね」と感心されることもしばしば。見えていなかった地域の課題を浮かび上がらせるという点でも、大きなやりがいを感じています。

仲間を巻き込んで、
活動を大きなうねりに。

加藤 プロジェクトを遂行するためには多くの障壁がありました。体験メニューはどうするか？ 商材をどのように用意し、使い方はどうやって説明員に伝授するか？ 体験のイベント設営をどう実行するか？ そこで選んだ解決法は、仲間を増やしていくことでした。

鈴木 普通だと専任チームを組織して、そのハードルをクリアしようとするでしょう。ですが、私たちはまず同じような問題意識を抱えている社員を集め、できるだけ多くの意見を聞くことにしました。その方が価値のある体験会にブラッシュアップできると考えたからです。実際、このプロセスを経たことで、自然な雑談を生み出すという一番の目的に近づけたと思います。

加藤 当社にはグループ会社も含めて多彩な人材が揃っています。限られたメンバーだけで実現しようとしたら大変ですが、多くの人材の知識やスキルを結集させれば必ずかしいことではありません。そこで、様々なキーマンを巻き込み、みんなで体験会をつくり上

げるように努めました。現在、プロジェクトのメンバーは東北 6 県に 200 名以上おり、月 1 回開催のオンラインミーティングには関係者も含めて 300 名近く参加することもあります。鈴木と私が取りまとめている、中にはとても偉い人も参加していてドキドキしますが、開き直ってその刺激を楽しんでいます。

体験が受注につながり、
実際に困りごとを解決。

角 体験会ではお客さまにアンケートを取り、1 週間後にはお客さまを再度訪問する「フィードバック会」を開き、特に関心の高かったメニューについてより詳しく説明したり、質問にお答えしたりしています。そのようなアフターフォローも功を奏し、実際ある市には、手書き書類のデータ入力を AI-OCR で自動化するシステムを導入することができました。

畑井 手入力作業にかかっていた時間を住民サービスにあてることができるようになり、業務効率化によって働き方の改善にも寄与します。通信以外にも私たちが貢献できることはあるとあらためて感じました。

加藤 最近は、NTT-ME は地域の課題解決に向いている会社だと実感しています。地域に広く根差していて、私もそうですが自分の地元で働いている人が多いのが特徴です。地元愛がある人には困りごと相談しやすいですね。これからも「DX 体験会」を拡充して、自分たちの地元をより働きやすくし、つながりを広げていきたいです。



Interview

社員を知る

NTT-ME で働く社員にちかづいて、
仕事のこと、環境のこと、プライベートのこと……
様々なテーマで話してもらいました。
知らなかったことや新たな発見がみつかって
あなたの視野がひろがるかもしれません。



ホープ

P.15  #安全の共創
アクセス業務 今泉 景花

P.17  #イノベーションへのアイデア提案
アクセス業務 石井 なつみ

P.19  #充実した研修プログラム
ネットワーク業務 島津 冬馬

P.16  #AI活用による自動化
ネットワーク業務 照沼 航希

P.18  #文系出身者も活躍できる現場
アクセス業務 大槻 聖

P.20  #ワークライフバランスの実現
ネットワーク業務 實川 茉衣

Career Path Interview

P.21  #アクセス業務のその先へ
アクセス業務 舟久保 卓杜

P.23  #ネットワーク業務のその先へ
ネットワーク業務 高山 優菜

リーダー

P.25  #チームが挑戦できる環境づくり
アクセス業務 横内 誠

P.26  #現場を牽引するマネジメント
ネットワーク業務 蘭部 大輔



PRIVATE COLUMN

カフェで友人と、ゆったりと。

オフの日はゆったりとした時間を過ごしています。たとえば、学生時代の友人とのカフェめぐり。時間を忘れるくらいおしゃべりして、リフレッシュしています。また、家の近くに自然豊かな公園や海が見える場所もあり、一人のときはその風景を楽しんでいます。



どうして NTT-ME？

お客さまの通信を守りたい。

「技術で人の役に立つ仕事がしたい」と思い、工業高校の電子科を選び、通信技術を学んでいました。そんな中で、NTT-MEのインターンシップに行ったのが志望のきっかけです。通信の奥深さを知り、通信設備を守る先輩社員のカッコいい姿を見て、「私もスキルを上げてお客さまの通信を守りたい!」と感じました。自分の技術で、電話やインターネットが使えず困っているお客さまを一人でも減らしたい。そう強く思ったことを覚えています。入社後は、念願だった通信設備のメンテナンスや修理の仕事に取り組みました。現場でお客さまの通信を守る、やりがいのある業務です。現在は、現場のメンバー一人ひとりが安全に業務できるように、サービスセンタ全体の業務内容や備品のチェック、安全向上のための講習会の企画・運営を行っています。

成長を感じる瞬間は？

頼りがいのある存在になりたい。

先輩のむずかしい質問にも的確に答えられたときに、自分の成長を感じます。現在の業務についてからは、新入社員に仕事のやり方や安全について教える機会が増えました。先輩に教わる立場から教える立場へと180度変わり、そんな責任の重い役目が果たして自分に務まるのだろうかと

不安でした。ところが、手探りしながらできるだけ丁寧に教えようと取り組むなかで、後輩たちが真剣に話を聞き、一生懸命メモをとる姿を見て、「頼りがいのある先輩になれるように頑張りたい」と、考え方が変化していきました。次第に教えることにも自信がつき、質問にしっかり答えられることに達成感を感じています。

最近のチャレンジは？

支店の枠を超えたプロジェクトに参加。

エリアや部署の枠を超えた「オンサイト未来プロジェクト」に参加しています。このプロジェクトは元々、男性中心でつくられてきた現場環境を、女性の目線を加えて改善していくという活動でした。現在は男女関係なく、みんなが働きやすい職場づくりを目標にしています。東日本各県域から様々な職種や立場のメンバーが参加しており、多くの人を巻き込みながら、いろんなアイデアを現実化しています。例えば、高所作業用のバケット車の作業台に被せるテントを開発し、雨天時にも精密機器を扱えるようにするなどの改善を施しました。私は他の業務で経験していた動画作成のノウハウを活かして、テントの使い方の解説動画をつくりました。これからもより広い視点で、現場力につながるアイデアを出してみんなの力で安全を追求していきたいと思っています。

#安全の共創

お客さまの通信を守り、現場の安全を追求する。

東北ブロック統括本部 青森エリア統括部
サービスセンタ
2020年入社

ホープ 今泉 景花

Access

Network

地域を支える、次なるあたりまえをつくる。

千葉ブロック統括本部 茨城エリア統括部
サービスセンタ
2020年入社

照沼 航希

ホープ

#AI活用による自動化

どうして NTT-ME？

通信インフラを支える、責任ある仕事を。

学生時代は社会に広く関われることに魅力を感じネットワークを専攻しました。NTT-MEは、世の中の多くの方が利用するサービスを提供する通信設備を運用・保守していると知り、そのような責任ある仕事をしたいと入社を希望しました。日本の通信インフラを支えるという広範囲にわたる事業領域の広さにも可能性を感じ、新たな知識や技術を学ぶ機会にふれられると考えたのも、大きな理由です。実際に入社し、NTTビル内の伝送装置やIP装置などの故障修理対応といった保全業務に就くと、一つの装置の先には何千ものユーザがいるといった圧倒的な規模感に驚きました。重大な責任に身が引き締まると同時に、通信インフラに関わることにワクワクしました。

現在の業務は？

ネットワーク開通のDX化を目指して。

入社後2年半ほどNTT東日本の通信設備を維持・運用管理する業務にあたり、現在はお客さまに提供するサービスのシステム化から開通までを担当しています。具体的には、インターネット接続に必要な設備の設計や試験、インターネット上に仮想の専用回線を構築して特定の人だけが

使える安全なネットワークを構築するVPN開通などに関わっています。今や通信はお客さまにとってつながってあたりまえのサービス。そのためミスは許されず、各工程において正確性が求められ、極力人の手を介さず完結できることが理想となります。私はこれまで人間が行ってきた高度な業務をAIに代行させるRPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）などを駆使し、業務をDXで自動化する取り組みにも挑戦しています。

達成感を感じた思い出は？

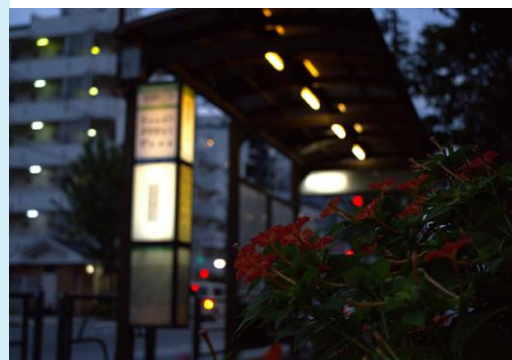
スキルを競う大会で感じた、確かな手応え。

NTT東日本の各部署から整備保守のエキスパートが選ばれ、毎年その技能を競い合う「現場力向上フォーラム」に、所属していた部署の代表として出場することができました。先輩や同僚たちから支援を受けながらスキルを磨き、東日本各地から集まった17人中で6位の成績を収められた瞬間には、やり切った充実感に満たされました。通信の技術は日進月歩で進化していきます。NTTグループではIOWN構想という未来に向けた新しいネットワーク技術の研究が進んでおり、私自身もいつかその取り組みに参画できるかと思うと、心が踊ります。自身の考えや行動も現状に留まらず、新しい技術を活用しながら目の前の現実をアップデートしていきたいと日々業務に励んでいます。

PRIVATE COLUMN

休日はカメラを片手に。

先日カメラを購入し、いろんなところへ出掛けては撮影しています。ファインダーを覗くと、家の周りの見慣れた風景の中にもたくさんの発見があります。被写体にも興味湧いてくるので、最近は興味の幅がどんどん広がっています。





Access

自らのアイディアとDXで、 現場の業務をより良くしたい。

千葉ブロック統括本部 千葉エリア統括部
サービスセンタ

2019年入社

ホープ 石井 なつみ

#イノベーションへのアイディア提案

どうして NTT-ME ?

先輩から聞いていた、働きやすさ。

就職先を選ぶにあたって私が最も重視したのは、福利厚生です。福利厚生の内容はどの会社よりも充実しているように思いました。とりわけ育休からの復帰率の高さを見て、女性が働きやすい環境が整えられていることに惹かれました。私の母は小さい時に保育園のお迎えなどに苦労し、妹の出産後は職場復帰を断念してしまいました。母の経験も踏まえて、子育て中の働きやすさは特にこだわったポイントです。また、NTT-ME に入社した学生時代の先輩からは、休みが取りやすく、プライベートも大切にできる職場だと聞いていました。入社してみると実際に休みが取りやすく、1時間単位でお休みを取得できる制度もあり、仕事とプライベートを両立できたことにとても満足しています。

いまの仕事の原動力は？

現場のため、縁の下の力持ちに。

私は高専で旋盤や鋳造など機械にまつわる手仕事を専門にしていたので、初めに配属された現場での故障修理の業務にとってもワクワクしました。高所作業用のバケット車で現場に出向くと、女性スタッフが来たことに驚くお客さまもいらっしゃいました。修理のためにお客さま宅にお邪魔することもあるので、女性のお客さまに喜ばれることも

多々ありました。現在は、故障修理で現場に向かうスタッフへ、図面を調べて細かな情報を伝えるなどのサポート業務を行なっています。各現場の状況を把握しながら的確に情報を伝えるのは容易ではありませんが、業務がスムーズに進む手助けができた時の達成感はひとしお。自分も故障修理を担当していたからこそ、このバックアップ業務の大切さがよくわかるのです。

今後のキャリアビジョンは？

DXによって地域に貢献したい。

故障した設備をメーカーに修理依頼することも重要な業務です。これまで、修理依頼には用紙にペンで書き込む形式の管理簿が用いられていましたが、記入漏れや紛失の恐れが生じるという課題がありました。そこで私は、Microsoft の Planner を活用して、メンバーの誰もがいつでもクラウドで確認できるデジタル管理簿を作成し、用紙で行っていた業務を DX 化しました。これにより、記入漏れや紛失のリスクが低減されるとともに、いつでも進捗が簡単に把握できるようになり、修理依頼業務の効率化も実現。このことがきっかけで社内イベントの「KAIZEN 推進大会」では優秀賞をいただくことができました。今後も業務の DX 化によって常に通信がつながる状態をサポートし、地域に貢献していきたいと思います。



PRIVATE COLUMN

趣味のバドミントンも、やるなら徹底的に。

両親の影響で2歳から始めたバドミントンは、いまでも大切な趣味になっています。週末は実家に帰ってクラブチームの練習に参加し、汗を流してリフレッシュしています。どうせやるなら目標を持って徹底的に打ち込みたいので、大会にも出場しています。先日は所属リーグで優勝することができました。



PRIVATE COLUMN

会社の制度やイベントを活用して、充実した休日を。

年次休暇が取りやすく、お休みのときにも会社が開催してくれるイベントがあったりと、仕事も休日もとても充実しています。長期休暇では旅行に行ったり、会社のイベントでクルージング立食パーティーに行ったりと。次の長期休暇に向けて、今はパートナーと海外旅行のプランを考えています。

り、日頃から技術力の向上に務めていました。「技能競技会」では故障している設備の故障箇所を特定し、正確に安全に、そして早く直すことが求められます。この優勝という結果は、エンジニアとしての自信につながり、成長を実感することができました。優勝したことがきっかけとなり、他の支店の方から声を掛けてもらったり、その大会に出場する後輩を支えたりと自然とコミュニケーションの輪もひろがりました。互いに支え合い、切磋琢磨する組織風土が、一人ひとりの成長につながっていると思います。

今後の目標は？

成長とともに、目標もアップデート。

入社当初は自らの技術力を高めていくことが目標でしたが、現在は役割も変わり目標も変わりました。私の今の主たる役割は、若手社員の安全リーダーや指標管理など。そのため、自らが担当するチームをより良くすることが目標となり、エンジニアとしてのスキルのみならず、どうしたらみんながもっと働きやすくなるのか、業務が効率化するのかといったリーダーシップや組織運営としてのスキルが求められるようになりました。現場を経験してきたからこそわかる視点を大切にしながら、より広い視野を持ち組織の中心となり、将来的にはさらに大きな規模で組織の運営に携わりたいと考えています。常に新しいことにチャレンジできるこの環境を活かし、会社そして世の中の変化を機会と捉え、成長し続ける人材であり続けたいです。

#文系出身者も活躍できる現場

チャンスにあふれている環境が、 視野を広げ、視点を高めてくれる。

東京ブロック統括本部 東京東エリア統括部
サービスセンタ

2019年入社

大槻 聖

ホープ

Access



PRIVATE COLUMN

家族とも、友人とも、同期、同僚とも。

ここ最近ではキャンプにはまり、家族や学生時代からの友人、会社の同期、同僚ともキャンプに行っています。自然の中で癒やされ、家族や仲間と過ごす時間は何よりも楽しいですね。同期や同僚とキャンプに行くことは、オフィスではでないアイデアにつながったりすることも。



どうして NTT-ME ？

地域のために、大好きな先輩と。

生まれ育った北海道に貢献したい、その思いを軸に就職活動をはじめました。そのため地域に深く関われる仕事に就きたいと思い、通信をはじめ、電気・水道・ガスなどインフラ業界の企業を検討しました。その中でも NTT-ME を志望した理由は、地域を支えているだけでなく、地域の未来をつくっていること。それは、自分の成長だけでなく、地域の成長にもつなげていけるということであり、この会社に入って北海道を元気にしたいと思うようになりました。また、学生時代に所属していたアイスホッケー部の尊敬する先輩が NTT-ME に入社していて、「一緒に働かないか」と言われたことも、志望の大きな理由の一つです。いつか尊敬する大好きな先輩とともに北海道の未来を語ることを考え、ワクワクしたことを今でも覚えています。

いまの仕事は？

体験を通じた知識習得が、大きな成長に。

私は今、NTT-ME の研修プログラムの一環として NTT 東日本の先端テクノロジー部のクラウドサーバ技術部門に外向しています。そこでは、NTT 東日本グループの事業を支えるプライベートクラウド「Savanna」の開発・検証・コンサルティング業務を行っていて、私は主にコンサルティング業務に携わっています。具体的には通信を制御

するシステムやお客さまへサービスを提供するシステムなど、多くの部門と関わりそれぞれの部門のシステムやサービスをクラウド化する設計支援を行っています。この業務ではサーバに関する知識が求められますが、配属当初、私はサーバを扱った経験がありませんでした。ただ NTT-ME では机上の理論的な知識だけでなく、実機を活用する実体験・追体験を先輩社員のもとで学ぶスキル習得の環境があり、早期にスキルを習得することができました。多くの組織を巻き込む仕事だからこそ、実践で生きる知識を体得できる成長環境が整っていると日々実感しています。

今後のキャリアビジョンは？

働きやすい環境をひろげていく。

これから取り組んでいきたいことは、現在携わっているコンサルティング業務の DX 化です。現状抱えている課題は、コンサルティング業務に関わっているメンバー各人の経歴やスキルに差があることで生じる対応品質や、人事異動などによるスキル継承です。これらの課題解決として、プライベートクラウドへのシステム搭載におけるメニュー化や、コンサルティングガイドラインのチャットボット化に取り組み、各メンバーの稼働を削減し、高水準の対応品質による UX の向上を実現していきたいと考えています。自らが成長し、働く環境をより良くし、NTT 東日本グループのみんなが働きやすくなっていく。そんなひろがりをつくり、地域のためにできることへつなげていきたいと思っています。

充実した研修プログラム

成長は、みんなのため、
地域のために。

NTT 東日本 先端テクノロジー部
クラウドサーバ技術部門 外向

2011 年入社

ホープ 島津 冬馬

Network

Network

人も制度も、
私を支えてくれる。

設備マネジメント部
ネットワークオペレーションセンタ

2010 年入社

實川 茉衣

ホープ

ワークライフバランスの実現

どんな組織風土ですか？

誰一人置いていかない組織。

入社当時、男性と理系の方が多い職場だと思いました。文系出身の私は入社当時、ネットワークの知識が全くありませんでした。導入研修のときに、同期のほとんどが知っていることでも、私だけ知らないという知識やスキルも多くありました。そんななか、今も私が働いていられるのは周囲の仲間に助けられ、支えられているからだと思います。今まで、複数の業務に携わりましたが、その都度、新しい知識やスキルが求められます。その知識やスキル習得において、研修はもちろん周囲の仲間がいることで、いつも安心して業務に取り組むことができます。できない人を置いていくのではなく、誰一人置いていかない組織風土があるからこそ、技術的にも人間的にも成長し続けられると実感しています。

働きやすい職場ですか？

育児も、仕事も、お休みも。

子どもが小さいときに育児休職から復帰したので、子どもが体調を崩したり、怪我をしたり、病院で予防接種をしたり、子どものために使う時間が多くなりました。NTT-ME では勤務時間が異なる 3 パターンの短時間勤務を選べたり、1 時間単位で年次休暇が使えるという制度があるの



PRIVATE COLUMN

ご飯を美味しく食べるために。

お休みの日は、二人の子どもと一緒に、思いっきり身体を動かします。大きな公園に行ったり、川に行ったりと、いつも子どもたちと体力勝負です。その後のご飯は本当に格別で、幸せいっぱいです。よく動き、よく食べ、よく寝ることで、いつも気持ち良く仕事と向き合っています。

で、その制度を存分に活用し子育てと仕事を両立しています。入社当時から出産後に職場復帰される方がとても多い印象があり、育児と仕事の両立を職場のみんなが前向きに支えてくれます。子どもが急に熱を出したとき、同僚が気軽に仕事を引き受けてくれたり、そういった温かな職場の雰囲気ですごく助けられています。コロナ禍以降は在宅勤務制度の範囲が広がり、より働きやすい環境が整ってきたと思います。

今後の目標は？

理想のチームをつくりたい。

今までいろんな人の力を借りてキャリアを築いてきたので、周囲の仲間の強みや長所を理解しています。そういった強みを活かして目標を達成していく、理想のチームをつくっていきたくと思っています。チーム力を高め、仕事を推進するために傾聴力や共感力といったヒューマンスキルを日々磨いています。また、DX 化によって業務を効率化できるよう新たなテクニカルスキルを修得し、そのスキルを周囲に還元しながら組織能力の底上げに貢献できればと考えています。既存の考えややり方に固執せず、変化することを恐れず、楽しもうという姿勢を大切にこれからも業務に取り組み、変革を推進するチームのマネージャとして活躍していきたいです。

Career Path Interview

高校を卒業してNTT-MEへ入社した社員が

どのように経験を積み成長したのか、その軌跡を聞くスペシャルインタビュー。



Access

できることも、やりたいことも
ひろがり続ける。

神奈川県ブロック統括本部
デジタル改革PT

2015年

ホープ 舟久保 卓杜

#アクセス業務のその先へ

CAREER PATH

1

年目

技術者としてお客さまに直面

現場で通信設備の故障修理の業務にあたる。お客さまから直接感謝の声をいただけるのが嬉しい。

2

年目

新設のサービスセンタへ

川崎に新設するサービスセンタの立ち上げメンバーとして配属。故障修理業務を通じて技術者として経験を積む。

5

年目

現場社員を統制する立場に

自分も現場へ行きながら、リーダーとして現場社員を統制する立場に。周りに目配りすることの大切さを知った。

7

年目

業務改善を推進する

神奈川県にあるサービスセンタの業務改善を推進する担当に。DXの技術を駆使して様々な改善を実施した。

9

年目

データ分析と映像制作

DXを推進する部門に異動し、街の人流分析などのデータ解析業務の他、映像制作・配信業務に取り組む。



故障修理の現場を経て、
業務をデザインする立場に。

誰もが使っているモノに関わりながら、人の役に立つ仕事をしたい。そう考えた私は、通信設備の保守等を通じてお客さまと直接関わることができるNTT-MEを志望しました。通信を24時間365日途絶えさせないという使命と責任は重大です。設備の保全業務に取り組むことで、社会に貢献できることを誇らしく感じました。

現場社員として場数を踏み、他社での研修の経験も積んでいくと、自分の業務を客観的に見るようになりました。業務の品質や安全性を向上させるためには？といった業務改善への興味がつくられていく。そんなときに異動となったのが、故障修理を担うサービスセンタの様々な業務をBPR（ビジネスプロセス・リエンジニアリング）によって改善する部署。BPRとは業務の流れなどを見直し、根本的に再設計すること。高まる興味と一致する仕事内容にワクワクしました。

自分がリーダーとして携わったの

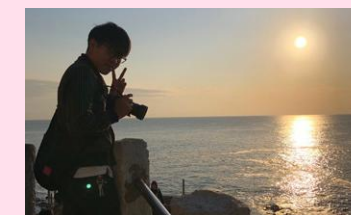
が、各サービスセンタで行っていた故障修理報告のデスク業務を1カ所に集約するプロジェクト。従来は現場社員が修理報告書を手書きし、デスク担当者がそれを手入力でデータ化していました。この作業は1カ所にまとめた方が効率的で、さらに報告書を人の手を介さずにデータ保存できれば理想的です。そこで、AIを使った文字読み取り技術を活用することで入力作業を自動化し、中央のデータベースに自動保存する仕組みを整えました。予想外に大規模なプロジェクトになり責任も重大でしたが、その分やり遂げた達成感もひとしお。大勢が関わる業務を効率化できることに、大きなやりがいを感じました。

DX、映像配信・映像制作。
挑戦は新たなステージへ。

ITを駆使することで業務改善できるポイントは随所に隠れています。同じやり方に慣れるのではなく、変化への挑戦も必要と感じていますが、そのためには周囲の協力が必要です。そこ

で私は改善案をできるだけ具体的に視覚化し、生まれるメリットを作業時間の削減量などの数値で示しながら、納得してもらえるまで丁寧に対話し続けました。DXによる業務改革にはITスキルも重要ですが、人と人の対話が大切だという気づきも得られたのも有意義でした。

今年からはNTT-MEのDXを推進する部署にいます。私が担当しているのは、花火大会やフェスなどの大きなイベントにおける人の流れを、GPSによって見える化すること。そのデータを分析し、有益な情報を主催者に報告する業務です。その内容はより効果的な集客方法の検討や安全対策などに活かされます。さらに、イベントの映像配信や映像制作にも取り組んでいます。私自身、ディレクターやカメラマンを務めることもあり、コンテンツをつくる難しさ楽しさを日々味わっています。今後チームをまとめて上げるプロデューサーとしても映像分野に関わっていけるよう自己研鑽に努めていきたいです。



PRIVATE COLUMN

パートナーとの休日ショッピング。

業務には全力で取り組み、休日はパートナーと出かけて、のんびりとリフレッシュしています。行き先を決めずにドライブしたり、自然の中で過ごしたり。先日は新しくオープンしたアウトレットへ行ってショッピング三昧。休日を充実させることで、また月曜から頑張れます。

Career Path Interview

高校を卒業してNTT-MEへ入社した社員が

どのように経験を積み成長したのか、その軌跡を聞くスペシャルインタビュー。



Network

「後輩のお手本」を目指して、
挑戦は終わらない。

総務人事部
人事労働部門

2011年入社

ホープ 高山 優菜

#ネットワーク業務のその先へ

CAREER PATH

1
年目

設備に直接ふれる仕事

設備を保守する業務に従事。工業系学校出身の同期が多い中で不安もあったが、問題なくこなせるようになった。

4
年目

設備を設計する業務へ

ビル内に設置する装置の設計をする部署へ異動。未経験だった設計のスキルを身につけていった。初めての社長表彰を受賞。

6
年目

コネクタ化が大きな話題に

プロジェクトをリードした機械室の配線のコネクタ化を実現。優秀な改善案として社内で数々の賞を獲得。

7
年目

大きな困難に直面

大規模な組織改変と5G導入により、職場が混乱。若手の指導などに主体的に関わり、ピンチを乗り切った。

13
年目

採用育成の担当へ

内定者の社会人マインドの醸成のための施策、エンジニア社員の育成計画の策定などに奮闘中。



私を高めてくれる 社長表彰へのトライ。

新たな挑戦で成果を出すことへの喜びが、人一倍大きいと思います。高校入学後から勉強も努力すれば成績が上がり、知識が増えることが楽しくなりました。でもいざ就職となると、何をしたいかわかりません。商業科だったので、せっかくなら知らない世界に飛び込みたいと、工業科で人気だったNTT-MEを志望しました。

まずオンサイトで通信設備の保守業務に約3年間従事しました。初めにしっかりと研修を受け、現場にも先輩と同行しながら、独り立ちを目指してスキルを磨いていきます。同期は大勢いましたが、商業高校卒の女性我当时は数少なかったと思います。先輩方の指導のおかげで安心して取り組むことができました。

エンジニアリングセンタに異動となり、今度は設備の図面を作成する担当となりました。このときにエコ&セーフな機械室を実現しようと、プロジェクトチームを立ち上げました。それま

での電源供給装置は通電部が露出した配線を使い手作業でつないでいましたが、それをコネクタを差し込むだけで済むように改善したのです。これにより感電やショートのリスクを低減するとともに作業効率はアップ。作業量の削減効果は最大約7,700人日・3億2,000万円と多大で、この施策により優良施策発表会1位、V-TECHX表彰受賞、社長表彰の3冠を獲得できました。初めての社長表彰は入社4年目。そのとき「5年に1回社長表彰を獲れたらカッコいい!」と考えましたが、結局13年で5回獲得。いまは「趣味は社長表彰」と公言するほど、モチベーションになっています。

自身の中に目標設定し チーム力の改善へ。

6年前、大規模な組織改変で各エリアの設計チームが集約されたときは、大きな困難に直面しました。各エリアの設計法が多様多様なうえに、5Gの導入によって設計件数が通常の何倍にもふくらんだのです。本来あってはな



らない再設計は4割にも達してしまい、納期を守るだけでギリギリ。そこで、チームの中で比較的設計に携わった年数が長かった私は、まとめ役を買って出て課題解決に当たりました。再設計を1割まで下げる。設計の共通ルールを確立する。若手がいち早く戦力になるように育成する。これら3つの目標を密かに自分の中に設定したのです。他の組織も巻き込みながら目標に向かっていくと、職場の状態が改善され、作業の品質が上がり、設計チームへの信頼も高まっていきました。目標達成までやり抜き、自分の成長も強く実感できた経験です。

以来、設計の若手育成の担当を務め、その経験を生かし現在は総務人事部で採用育成を担当しています。内定時代から学生とふれ合うことで一人前の社会人になっていく成長過程を見守れる。これは大きな喜びです。私自身、後輩のお手本になれるよう、さらなる挑戦を続けていきたいです。

PRIVATE COLUMN

我が家に仔猫がやってきた。

家族に猫のふくが加わりました。スコティッシュ・フォールドという種類で、もうすぐ1歳になります。名前は我が家にやってきた日の誕生花だった福寿草から付けました。できることが少しずつ増えてきていて、成長を見守るのがすごく楽しいです。





Access

地域のことを考える、 最高のチームをつくりたい。

東京ブロック統括本部 東京南エリア統括部
サービスセンタ
2007年入社

リーダー 横内 誠

#チームが挑戦できる環境づくり

携わったプロジェクトは？

地域の安全を守るために。

伊豆大島から小笠原諸島まで、伊豆七島の設備を保守する仕事のマネージャとして、八丈島に2年間赴任しました。そのときに地域活性化・地域貢献の一環として、小学校向けの防災授業を企画しました。伊豆七島は台風による災害が頻発する地域なので、島民には高い防災意識が根付いています。そこで、災害発生時の避難や復旧訓練など地域の特性に合った独自の防災訓練を実施しました。災害への備えとして实际的に役立ち、かつNTT-MEの事業を理解してもらおう画期的な取り組みになったと思います。

さらに、各支店合同で実施した「アクセス合同災害復旧訓練」も達成感を覚えたプロジェクトです。倒れた電柱をいかに復旧するか、修理方針の検討から破損物品の撤去、設備と配線の新設など、開通までを実際に行います。通常は、島嶼部以外では建設業務は協力会社が実作業を担当するため、一貫した復旧のノウハウを持った社員は多くはありません。地域の安全を守るためには、技術者としてのスキルアップとその継承が不可欠だと考えて発案した施策です。参加者からは自信につながったと、大きな反響をいただきました。

仕事の面白さは？

一人ではできないことが、チームならできる。

チーム一丸となって目標に向かうことで、大きな成果を上げられる。それがNTT-MEで働く醍醐味だと思います。その気づきを得たのは東日本大震災での経験です。パケット車で瓦礫だらけの被災地に入ると、少年が車の前に立ちはだかり、泣きながら「おばあちゃんが心配だから電話を直してほしい」と訴えます。ところが、圧倒的な被害の前に、少年のためだけの対応を優先するわけにもいかず、私は無力感に打ちのめされました。それまでの私は現場に必要な一通りのスキルは身につけていると思っていましたが、想定外の状況では自分一人では何もできないと痛感したのです。

しかし、一人ひとりの力は小さくても、社員たちが連携すると大きなうねりを生み出し、一人のときとは比べ物にならないほど大きな力を発揮できます。重要なのは、社員一人ひとりが何をすれば地域にとって最も貢献できるかを自ら考え、その実現のために他の社員と連携して行動すること。管理者はそのサポートに尽力する。私はプロジェクトを推進するにあたり、社員一人ひとりが考え、挑戦する環境をつくることを最も大切にしています。



PRIVATE COLUMN

ゴルフも、やるなら徹底的に。

趣味でも目標設定して達成するまで絶対やり続けるというルールを自分に課しています。ゴルフでは後輩にコテンパンに負けたのが悔しく、「100切り」を目標に練習に打ち込みました。2年で90切りを実現し、徹底的にやり切ることの大切さを実感しています。



PRIVATE COLUMN

神輿を担ぐ、心地よい一体感。

大の祭り好き。毎年5月に開催される浅草の三社祭に始まり、11月まで20カ所ほどの祭りで神輿を担いでいます。神輿担ぎは苦しいけれど、みんなが一体になれる不思議な魅力があります。事業所の地元、浦和の祭りには部下たちと参加します。一緒に無心になって楽しみたいです。

マネージャとしての役割は？

失敗を恐れない挑戦を見守る。

関東から信越までの広域のネットワークを守るために、約100名の部下とともに働いています。自ら考え抜いて行動できる組織をつくるのがマネージャの役割だと思っています。そのためには、最終的なゴールのイメージを明確にし、そこにたどり着くまでの標（しるべ）を示す必要があります。的確に標を示すために重要なのは、私自身の考えに固執しないこと。そして、年齢に関係なくフラットにコミュニケーションを取り、たくさんの情報をもとにゴールへの最短コースへ軌道修正していくことです。

さらに、組織のやる気を高めるモチベーターになることも私の大切な任務。「失敗は成功のもと」と常々言っていて、できる限り責任を与えて仕事を任せようとしています。失敗を恐れては成功はないし、たとえ失敗してもそこでしっかりと反省と改善があれば、成功よりもずっと大きく成長できます。私自身、失敗と成功からそれぞれ学んだことの割合は8：2くらい。必ず私のようなマネージャや先輩たちが見守っています。失敗を恐れず、許されている責任の幅を存分に楽しんでほしいです。

#現場を牽引するマネジメント

使命感とともに。 考え抜いて行動できる組織づくりを。

関信越ブロック統括本部
埼玉エリア統括部 サービスセンタ
2008年入社

藺部 大輔 リーダー

Network

心がけていることは？

ケーブルの先に見える、人々の暮らし。

使命感の継承です。私は入社後、通信設備を構築する仕事からキャリアをスタートさせました。救急や消防、銀行などに関わる、社会インフラとしてとりわけ重要な通信を担う機械室で業務をしていたとき、「この1本のケーブルの先には何十万、何百万ものお客さまがいるんだ」というイメージが急に湧き、身震いがしました。決してミスは許されず、つながっていることがあたり前。ケーブルの先に見える人々の暮らしのために、私たちは極めて重要な仕事をしているという使命感を常に抱いていなければいけません。

東日本大震災では福島へ応援に駆けつけました。各部署は被災し、極度に混乱した状態。社員には自宅が被災し家族が被害に遭った人も多くいました。そんな中でもそこで働く社員は職場にとどまり業務にあたっていました。そこでの先輩の一言を思い出すといまも胸が熱くなります。「俺たちがやらなくて誰がやるんだ？ まず電話をつながなければ被災者を救えないぞ！」。その原動力になったのはまさに使命感です。ケーブルの先にはお客さまがいて、私たちにはお客さまを守る使命がある。私たちは、その共通意識を日々、確認し合い、業務に励んでいます。





Environment

働く環境を知る

お客さま一人ひとりと向き合う私たちだからこそ、
誰もが働きやすいと感じる環境づくりを
とても大事にしています。

お客さまのために、仕事と丁寧に向き合い
学び、成長することで
お客さまと自分自身の未来の可能性を
ひろげることができる環境です。

- P.31 福利厚生、教育システム・資格取得支援
- P.33 キャリアパス
- P.34 オフィスギャラリー
- P.37 若手社員座談会
- P.39 女性社員座談会
- P.41 求める人物像
- P.42 人事担当からのメッセージ

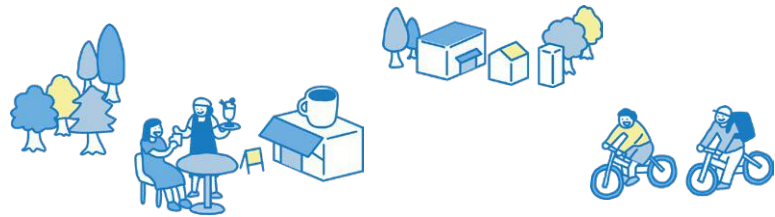


Benefit

福利厚生

NTT-ME では充実した福利厚生や休暇制度により、安心して働ける環境づくりに注力。自分らしいライフスタイルを実現できます。

※各種制度の利用には、一定の条件があります。



－ カフェテリアプラン（選択型福利厚生制度）の主なメニュー

住宅関係	社宅・寮入居 / 住宅補助費 / 住宅ローンに対する利子補助 等
レクリエーション	宿泊施設等利用 / フィットネス施設利用 等
健康増進	人間ドック / 健康相談 / メンタルヘルスカウンセリング 等
育児・介護	育児支援 / 介護支援 等
財産形成	財形貯蓄（一般、住宅、年金） / 社員持株会 / 奨励金制度（一般財形、社員持株会）等
生活支援	食堂等厚生施設利用 / ライフデザイン学習・相談窓口 等

－ 休暇等

年次休暇	日数は一休暇年度（10月1日から翌年9月末まで）につき20日与えられます。 （入社年度は、4月から9月で7日、10月1日から翌年9月末まで13日）
ライフプラン休暇	勤続年数5年毎の節目に5日の休暇与えられます。 また、年次休暇のうち、毎年3日までを限度にライフプラン休暇として積み立てることができます。
特別休暇	年次休暇とは別に合計5日間の休暇与えられます。
育児休暇	生後満3歳までの間、育児に専念するための期間を指定して取得できます。

Education

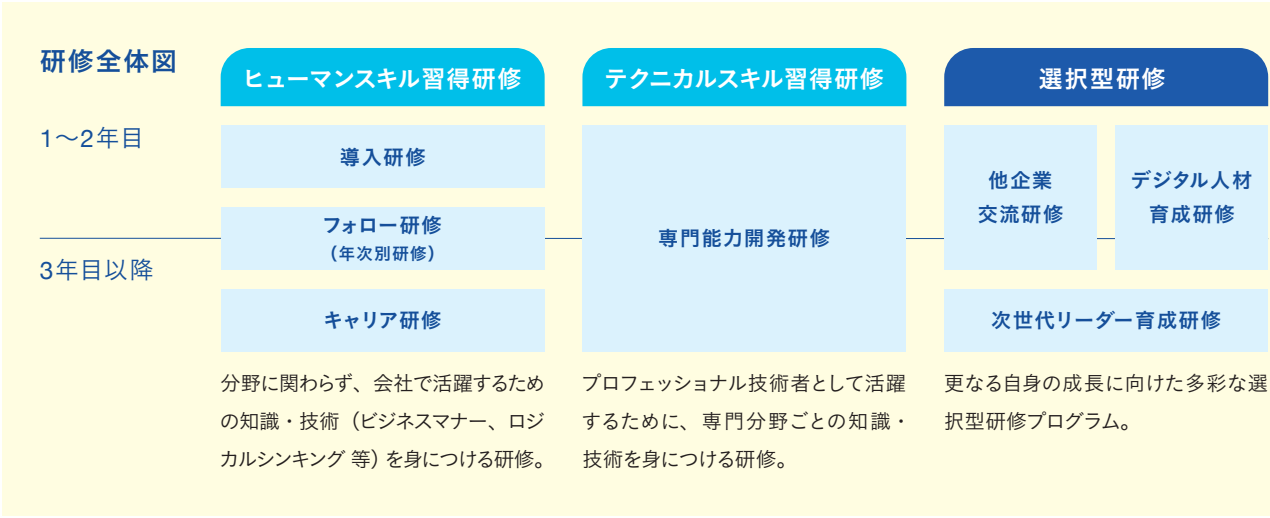
教育システム・資格取得支援

プロフェッショナルな技術者として成長し活躍していただくために、様々なプログラムを用意。一人ひとりのキャリアアップを総合的にサポートしています。

アクセス研修
光ファイバやメタルケーブル、地下設備、ルータ機器や電話機など、多様な通信設備についての知識と技術を身につける。

ネットワーク研修
電話サービスやインターネットサービスを提供するための設備を理解し、安定的に運用・保守できる技術を身につける。

－ 研修プログラム



－ 能力開発支援プログラム

スキルアップを支援する豊富なメニューを用意。
会社が推奨する資格を取得すると、受験料を支給する制度もあります。

奨励社外資格

工事担任者 / 情報処理技術者 / 情報処理安全確保支援士 / 無線従事者資格 / 電気通信主任技術者 / 電気工事関連資格 / プログラミング関連資格 等

eラーニング (約60講座)	通信教育 (約290講座)
社内資格 (約230資格)	社外資格 (約1,190資格)

ヒューマンスキル
習得研修

導入研修
ビジネスマナーや社会人としての心構えをインプットする。

キャリア研修
異動の前のキャリアについて考える。

フォロー研修

1年目：1～2年目で必要となるHS/CSを付与する（報連相、業務改善、コミュニケーション力等）。
3年目以降：3年目で必要となるHS/CSを付与する（テーマ：リーダシップ）。

テクニカルスキル
習得研修

専門能力開発研修
個人特性に応じた能力開発及び、外部感覚の醸成、リーダーに必要なスキルを習得する。

選択型研修

他企業交流研修
個人特性に応じた能力開発及び、外部感覚の醸成、リーダーに必要なスキルを習得する。

デジタル人材育成研修
デジタル基礎力強化、専門人材の創出をめざし、NTT 東日本独自のデジタル人材を育成する。

次世代リーダー育成研修
自ら考え、自律的に行動する、変革マインドを備えた、次世代リーダーを育成する。

HS:ヒューマンスキル CS:コンセプチュアルスキル



Career Path

キャリアパス

一人ひとりの社員が高い専門性と実務能力を発揮できるよう、キャリア形成を支援します。キャリアの方向性は会社が一方的に決定するのではなく、面談などで本人の希望、適性、事業動向などを考慮してともに定めていきます。

－ キャリアパスの一例

アクセス業務



坂本 英香（2016年入社）

	所属部署・担当	仕事内容	地域
1年目	神奈川県エリア統括部 サービスセンタ	カスタマーサービス業務	神奈川県
4年目	神奈川県エリア統括部 サービスセンタ	アクセスメンテナンス業務	神奈川県
7年目～	神奈川県エリア統括部 エリアプロデュース担当	運用・保守のエリア統括業務 地域活性化業務	神奈川県

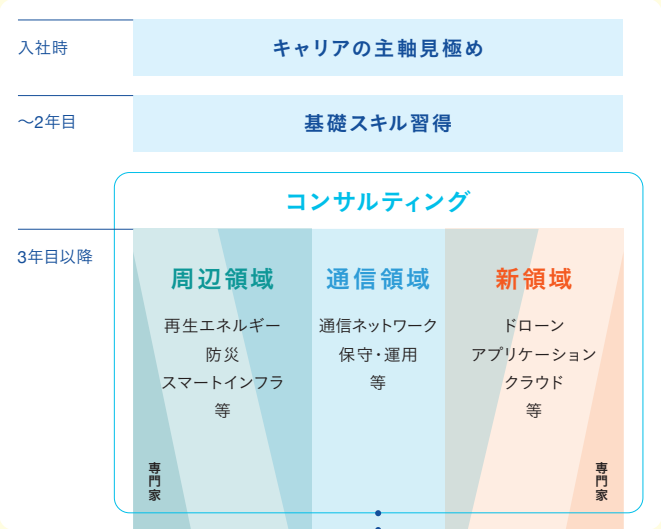
ネットワーク業務



服部 和貴（2014年入社）

1年目	群馬県エリア統括部 サービスセンタ	オンサイト業務	群馬県
5年目	設備マネジメント部 カスタマーサービスセンタ	専用線の故障受付業務	東京都
9年目～	設備マネジメント部 ネットワークオペレーションセンタ	モバイル通信事業者向け ビジネスコーディネート業務	東京都

将来的なキャリアのひろがり



NTT-MEでは多様化する事業に対応するため、基礎スキルのみに留まらない幅広い領域のスキル習得と、各領域の専門家の創出を行えるよう、新入社員の育成を行っています。

入社時
個人の適正や希望を踏まえ、キャリアの主軸・方向性を見極めます。

入社後2年間
通信設備保守業務に必要な基礎スキルを取得する期間となります。

入社後3年目以降
通信領域を基盤に、周辺領域・新領域も含めた複合的なスキル習得と各分野の専門家育成を行います。コンサルティングスキルは、全分野で継続してスキルアップを図ります。



オフィスギャラリー

お客さまとともに働く仲間とのつながりをつくり、実際に働くオフィスシーンをトレーニング、ワーキング、リフレッシュの3つのエリアに分け、ご紹介します。



Office Gallery 01 Training Scene

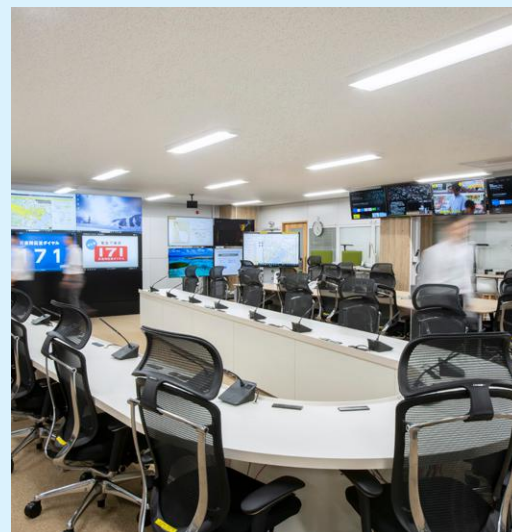
エンジニアとして求められる知識や技術を学び、深めるエリアです。座学、実機演習、ワークショップなど学びに応じた様々な空間があります。





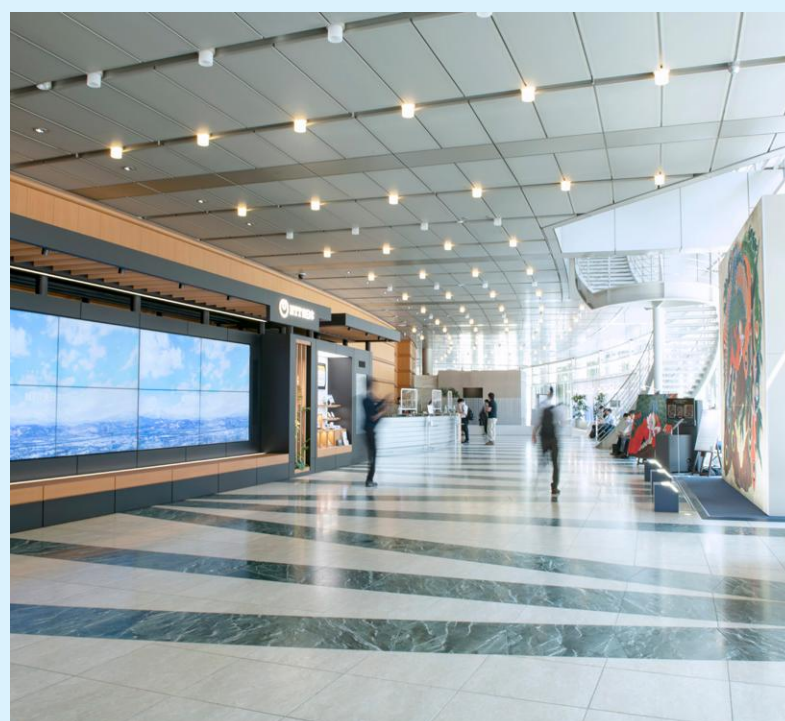
Office Gallery 02 Working Scene

現場、オフィス、会議室、サービスセンタ、通信ビルなど。働く場所は多岐にわたります。



Office Gallery 03 Refresh Scene

東日本全域に多くのオフィスがあります。その場所ごとにリフレッシュエリアがあり、誰もが働きやすい環境を目指しています。





Cross Talk

オンもオフも、いろんなことにチャレンジできる。
若手が語る職場環境とこれからの目標。

職場の雰囲気は？

佐々木 私の職場はベテランの方が多
いです。最初は目上の方と話せるかが
とても不安でした。でも実際に話して
みると、面倒見が良く、話しやすい環
境を作ってくれて。わからないことを
教えてくれることはもちろん、質問以
上の知識もたくさん教えていただけた
りと、とても助かっています。

浜田 私も着任時にベテランの方がお
菓子を持ってきてくれて、雰囲気を和
ませてくれました。

原 身近な先輩に相談しやすい雰囲気
はどの部署も共通してあるのではない
でしょうか。

澤野 私のところは若手の方が多いで
す。年次の近い先輩には、仕事面のサ
ポートだけでなく、プライベートのこ
となども相談させてもらっています。

江原 どの職場も男性が多い傾向で
すね。でも少ない女性社員だからこそ、
女性の活躍や働き方がより耳に入って
きます。

澤野 NTT 東日本グループ全体の女
性が主体となって業務改善をするプロ
ジェクトもありますよね。そこでは、
業務上で課題に感じていた、女性の頭
のサイズに合うヘルメットの検討や、
重い工具の軽量化などを実施し、女性
も働きやすい環境になっていると思
います。

佐々木 作業着も速乾性が高くなった
りとか、男性の視点からも働きやす
くなってきていることを実感しています。

澤野 日々の業務の中で学ぶ環境も
整っていますが、研修なども整って
いますよね。

佐々木 業務時間内で、研修を受講で
きる環境やそれを後押ししてくれる雰

原 翔馬 2012年入社 神奈川ブロック統括本部 神奈川エリア統括部 サービスセンタ
江原 美月 2016年入社 千葉ブロック統括本部 設備企画部門
澤野 華織 2017年入社 東京ブロック統括本部 東京北エリア統括部 サービスセンタ
佐々木 爽介 2016年入社 東北ブロック統括本部 岩手エリア統括部 サービスセンタ
浜田 和毅 2014年入社 関信越ブロック統括本部 群馬エリア統括部 サービスセンタ



これからの目標は なんですか？

江原 現場経験のあとは本社勤務で大
きな課題にチャレンジしてみたい。

佐々木 いろんなことができる業務
があり、そういった土壌がある会社で
すよね。

澤野 若いうちにチャレンジしたい。
浜田 だからこそ夢も持てる。具体的
な目標でいうと、学んできた先輩から
受け継いだことを後輩に引き継ぎ、目
標とされる先輩になりたいと思ってい
ます。

澤野 私の後輩社員が増えてきて、後
輩の育成に力入れていきたいですね。
基盤となる通信領域を越えて、様々な
分野を経験しキャリアアップしてい
きたいです。

原 現場経験を7年してきました。
培ってきた技術を継承していくことは
私たちに託された使命です。

江原 これから入社してくる女性の
ロールモデルになれるよう女性管理職
を目指したいですね。

佐々木 ベテランの人の技術をつない
でいくこと。そして絶え間ないスキル
アップです。この会社でできることは
たくさんあるので、これからも貪欲に
チャレンジしていきたいです。

囲気があることも助かっています。

江原 逆に研修で得た知識を教えてよ
と先輩から言われることもありますし、
ありがたいと思います。

浜田 業務が多岐にわたっているから、
学び続けられる、成長し続けられる場
とそれを推進してくれる職場の雰囲気
があるのが、NTT-ME のいいところで
すよね。

福利厚生は 充実していますか？

浜田 プライベートで出かける先のい
ろいろなところで割引がありますね。
レジャー施設だったり、映画館だっ
たり、宿泊施設だったり。使える場所
が多いのはとても魅力です。

原 映画館の割引、よく使っています。
お昼休みにも簡単に予約することが
できます。

澤野 社宅環境も整っていますね。私
は、青森から東京に出てきたのです
が、その環境があることで私だけで
なく、両親も安心してくれて、この会
社に入って良かったなと思いました。

原 私は賃貸物件に住んでいるので
すが、住宅補助費が出るのも生活面では
助かっています。

浜田 若手で人気があるのが、レンタ
カーですね。旅行に行くときに、福利
厚生で割引が効くレンタカーをよく
使っています。

江原 年次休暇が1年毎に20日支給
されるのも嬉しいですね。上司からも



※福利厚生 の各種制度の利用には一定の条件があります。



Girl's Talk

どんな職場でも、男性でも、女性でも。
だれもが自然体で活躍できる。

どんな仕事を されていますか？

香川 はじめまして。香川さとみと申します。本日はよろしくお願ひします！ 私は北海道の設備部開通部門に所属していて、通信設備開通の受託案件の実行や差配、進捗管理を行っています。

伊藤 私と同じアクセス業務だから、故障修理業務からのスタートかな？

香川 はい。入社3年目までは故障修理を担当していて、電柱の上で作業したり、お客さま宅へ行ったりしていました。その後、ビジネスホンの工事を手配するビジネスデリバリーの仕事を経験して7年目から今の部門です。伊藤さんは、どんなお仕事をされているのですか？

伊藤 私は秋田サービスセンタの統括

業務を担当しています。事業計画、人材育成計画、安全施策を立案し、それらを展開、進捗管理まで行います。簡単に言うと、みなが働きやすい環境をつくる仕事ですね。

香川 伊藤さんも故障修理業務からですか？

伊藤 もちろん。故障修理や不良設備の更改といった現場の仕事からスタートして、設備管理業務、災害対策業務、運営企画、故障修理のオーバーヘッド業務と経験したかな。

香川 高山さんはネットワーク業務ですよ。どんなお仕事をされているのか興味があります。

高山 私は千葉のサービスセンタに所属しています。故障、開通どちらの差配業務もやっています。若手からベテランまでいて、和気あいあいと家族のような雰囲気です仕事をしているのが千



香川 さとみ
2016年入社
北海道ブロック統括本部
サービス運営部門

高山 里美
2012年入社
千葉ブロック統括本部 千葉エリア統括部
サービスセンタ

伊藤 紗礼
2010年入社
東北ブロック統括本部 秋田エリア統括部
サービスセンタ

葉の特徴かな。

伊藤 私の職場は若手社員が多くなってきて、DXの勉強や動画の編集をするなど新しいことにチャレンジしています。

香川 みなさんエンジニアとして活躍されていますが、最初から長く働きたいと思われていましたか？

伊藤 私は就職活動中から「長く働ける会社」という視点で探していて、弊社を見つけました。パンフレットやDVDを見たときに、グループ組織内で連携して仕事をしていて、「いろんな経験ができそう」と、ワクワクしたのを覚えています。

高山 千葉では職場環境をより良くしようという取り組みがあり、私は女性視点から長く働ける環境づくりをサポートしています。なので、長く働けると良いないつも思っています。

香川 本当にいろんな経験もできますし、働きやすいですね！

女性が働きやすい 職場だと思いますか？

香川 女性のエンジニアって少ないのかなと思っていましたが、私が入社したときは同じ事務所に多くの女性エンジニアがいて、一緒におしゃべりしたりして楽しく仕事ことができました。先輩方はどうでしたか？

伊藤 もう10年以上前になりますけど、秋田サービスセンタでは女性社員の採用は初めてだったので、事務所に女性は私一人でした。

香川 仕事がしづらくはなかったですか？

伊藤 当時は私より、周りの人たちがの方が大変そうでした。女性社員にどこまで仕事をお願いしていいかわからなかったようで、はじめは現場業務の班の中に入れてもらえず…。理由を聞くと「危ないから」とのこと。気遣ってくれてただけで、「私、現場に行きたいです！」と言うと、すぐに同じ仕事をするようになりました。

高山 伊藤さんは災害対策業務の経

験もあるんですね。千葉も台風とか災害が多く、お客さまが困っていることを想像すると現場に早く駆けつけたい、頑張ってた復旧しないとついいますよね。

伊藤 私は大きな竜巻で電柱がなぎ倒されて通信がつかなくなってしまったとき、みなで現場にかけつけ、復旧をしました。その経験から災害対策に興味を持つようになり、社内資格を取得。災害対策室への異動は、それが認められたからだと思います。

香川 男女関係なく、やりたいことに挑戦できるのがNTT-MEの魅力ですね。私も今の仕事は、上司から「やってみないか？」とチャンスをいただきました。

高山 サービスセンタだと夜勤もあったりしますが、女性だから特別扱いされるわけでもないですね。でも子どものことや各社員の生活の状況に配慮して勤務を調整してくれたり、そういった気遣いがとても嬉しいです。みな働きやすい、活躍できる環境になっているなあと思います。

香川 確かにそうですね。年上の方は、娘のように接してくれてとてもフレンドリーで、親身になってくれますね。といっても、仕事面では厳しい指導もあり、自分たちの成長を考えてくれているという実感があります。

伊藤 女性が働きやすい環境というより、女性も男性も自然体で活躍できる環境ですね。

制度や環境をどのように 利用していますか？

香川 福利厚生や制度が充実していると感じているのは私だけでしょうか？

伊藤 それは私も実感しています。一般財形貯蓄とか相互扶助部年金で将来

のために備えられるし、休暇制度も充実。お祭りが大好きなので、地域のお祭りに参加するときに1週間の連続休暇を取りました。

香川 本当に休暇は取りやすいですね。というか、むしろ取らないと叱られる（笑）。

伊藤 私は結婚式を挙げたとき、特別休暇制度も利用したし、結婚祝い金もいただきました。高山さんはワーキングママですよ。

高山 はい。妊娠、出産、子育てに関する制度はしっかり利用しました。妊娠中は健康検査・保険指導制度、妊婦通勤緩和措置制度を活用させていただき、出産時は出産休暇、出産後は育児休暇を取得。短時間勤務、そしてシフト勤務、1時間からお休みをとれる時間休を利用したりと様々な制度があります。

伊藤 私も近い将来、出産や子育ての機会に恵まれたら、福利厚生制度を活用して職場復帰するつもりです。

香川 仕事と家庭の両立は大変ではないですか？

高山 ワークライフバランスで、ライフの方に傾いたときにも働けるのがNTT-MEの良さ。「どちらも同じように頑張らなくっちゃ」と思うのではなく、会社のサポートを上手に使いながら自分なりにバランスをとればいいんじゃないかな。

伊藤 なるほど、それなら仕事もプライベートも楽しくなりそうですね。

香川 女性エンジニアとして活躍しているお二人のお話が聞けて、自分自身の未来が楽しみになりました。ありがとうございました！

※福利厚生の各種制度の利用には一定の条件があります。



こんなキミと
出会いたい!

Message to Candidates

求める人物像

私たちNTT-MEは、技術の力で地域の暮らしをより良くし、

地域の人々とともに未来を描いていきます。

東日本というフィールドで、もっと地域にちかづき、そこに住む一人ひとりの可能性をひろげたい、

そんな思いを持って行動できる人を求めています。



01

情報通信を支えるやりがい共感できる人

情報通信によって誰もがつながれる社会。

その「あたりまえ」を支え、

新しい技術によって豊かになる「地域社会」を支えたい。

そんな思いに共感できる人を求めています。



02

何事もチャレンジし学び続けられる人

世の中は変わり続けています。私たちも変わり続けます。

エンジニアとして新たな知識・技術を習得し、実践し続ける。

新たなことにチャレンジできる人を求めています。



03

チームワークを大切にできる人

私たちの仕事は、地域社会やお客さまのために

仲間とコミュニケーションをとりながら仕事を進めます。

自らのスキルやアイデアをチームに還元し、

チームを大切にできる人を求めています。

Message from HR

人事担当からのメッセージ

地域に、ちかづこう。

未来を、ひろげよう。

そしてあなたを、そだてよう。

通信は、「いつでも」「どこでも」つながることがあたり前です。

私たちは、24時間365日高品質で安定した通信インフラを構築・運用し、

人々のライフラインの一端を担いながら、

プロフェッショナル集団として地域の価値創造をお客さまとともに実現し続けていきます。

これからのつなぐを創るために。

NTT東日本グループの一員として、東日本全域の通信を支え、地域社会のみなさまとともに、

持続可能な循環型社会を共創するやりがいと一緒に感じてみませんか。

みなさまからのご応募を心よりお待ちしております。

